

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスmico		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 4人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 2日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援を行っています。	・支援計画に基づき、スモールステップを大切にしながら、その時々段階に応じた支援ができる様に心がけています。 ・その日のこどもの状態に配慮しながら、柔軟に支援を行なうことを大切にしています。	・こどもの困り感、特性にあわせて、作業療法士やペアトレーニングトレーナー、児童指導員、保育士が個別支援計画をもとに療育、支援に関わっています。
2	・土曜日、長期休み等、家庭的な食事提供をし、保護者支援やこどもの居心地よく過ごせる環境づくりを行っています。	・活動の中で食育を通して、食事作りやおやつ作りを行い食に対する支援を行っています。	・畑づくり、田植え体験や野外でのおやつ、昼食、デイキャン、夏まつり、収穫祭、家族や地域の方々も含めた取り組みを行っています。
3	・家庭環境にあわせた対応を行っています。	・関係機関と密に連携を行い、子どもだけではなく、家庭全体の状況を把握しながら対応をしています。	・管理者や児童発達支援管理責任者だけでなく、非常勤職員も含め、保護者・関係機関と関わっています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方への非常時等への対応(緊急時・感染症等)に対する周知と発信が不足しています。	・防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの説明に留まり、周知機会が不足しています。	・防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認の元、年度初めに保護者へ周知していきます。必要時、冊子を作成していきます。 ・Instagramやお便り等を通じて、保護者の方への取り組みを発信していきます。
2	・地域との交流の機会が不足しています。	・地域の子どもと活動する機会を、活動として提供できていません。 ・療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いており、「地域支援・地域連携」に対する情報収集不足、取り組みが不足しています。	・保護者の方の要望を伺いながら、必要とされている交流や連携を検討していきます。
3			